



2020年3月期 決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年5月14日
上場取引所 東

上場会社名 小池酸素工業株式会社
 コード番号 6137 URL <https://www.koike-japan.com>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小池 英夫
 問合せ先責任者 (役職名) 代表取締役副社長執行役員 (氏名) 富岡 恭三 TEL 03-3624-3111
 定時株主総会開催予定日 2020年6月25日 配当支払開始予定日 2020年6月26日
 有価証券報告書提出予定日 2020年6月25日
 決算補足説明資料作成の有無: 無
 決算説明会開催の有無: 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期の連結業績 (2019年4月1日～2020年3月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期	43,330	△6.2	770	△20.2	1,022	△15.6	278	△45.9
2019年3月期	46,217	4.1	965	△27.9	1,212	△21.0	514	△31.8

(注) 包括利益 2020年3月期 258百万円 (66.0%) 2019年3月期 155百万円 (△89.7%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2020年3月期	67.23	—	1.0	1.9	1.8
2019年3月期	124.40	—	1.8	2.2	2.1

(参考) 持分法投資損益 2020年3月期 44百万円 2019年3月期 61百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期	55,214	31,299	52.5	6,991.98
2019年3月期	55,274	31,372	52.8	7,052.76

(参考) 自己資本 2020年3月期 28,990百万円 2019年3月期 29,184百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2020年3月期	3,687	△2,275	△379	9,085
2019年3月期	1,016	△665	△726	8,094

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2019年3月期	—	—	—	80.00	80.00	331	64.3	1.1
2020年3月期	—	—	—	60.00	60.00	248	89.2	0.9
2021年3月期(予想)	—	—	—	50.00	50.00	—	—	—

(注) 2019年3月期 期末配当金の内訳 普通配当 60円00銭 記念配当 20円00銭

3. 2021年3月期の連結業績予想 (2020年4月1日～2021年3月31日)

2021年3月期の連結業績予想につきましては、新型コロナウイルスによる影響を現時点において合理的に算出することが困難であることから未定としております。今後、業績予想の開示が可能となった時点で速やかに開示いたします。

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期	4,522,933株	2019年3月期	4,522,933株
② 期末自己株式数	2020年3月期	376,707株	2019年3月期	384,916株
③ 期中平均株式数	2020年3月期	4,143,768株	2019年3月期	4,138,218株

(参考) 個別業績の概要

2020年3月期の個別業績（2019年4月1日～2020年3月31日）

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期	25,252	△10.5	16	△96.7	427	△51.4	0	△99.8
2019年3月期	28,229	1.6	498	△32.0	879	△18.2	286	△58.3

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期	0.13	—
2019年3月期	69.25	—

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%		円 銭	
2020年3月期	40,428		23,182		57.3		5,591.16	
2019年3月期	40,955		23,553		57.5		5,692.02	

(参考) 自己資本 2020年3月期 23,182百万円 2019年3月期 23,553百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料の3ページ「1. 経営成績等の概況 (4) 今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	3
3. 連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 連結貸借対照表	4
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	6
連結損益計算書	6
連結包括利益計算書	7
(3) 連結株主資本等変動計算書	8
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	10
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(セグメント情報)	12
(1株当たり情報)	14
(重要な後発事象)	14
4. 個別財務諸表及び主な注記	15
(1) 貸借対照表	15
(2) 損益計算書	17
(3) 株主資本等変動計算書	18
(4) 個別財務諸表に関する注記事項	20
(継続企業の前提に関する注記)	20
5. その他	20
(1) 生産、受注及び販売の実績	20
(2) 役員の異動	20

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度における世界経済は、米国と中国の貿易摩擦や英国のEU離脱問題が世界経済に与える影響が懸念され、先行きは不透明な状況が続きました。

一方、わが国経済は、雇用情勢の改善や個人消費の持ち直しが見られましたが、世界経済の不確実性が懸念され、景気の先行きは予断を許さない状況で推移しました。

当社グループの主需要先である産業機械業界・造船業界では市況の低迷が続き、建設業界では需要に回復の動きが見られたものの、労働者不足や建設コストの上昇による影響が懸念され、厳しい状況で推移しました。

加えて、当年度終盤には新型コロナウイルス感染症が全世界へ拡大したことにより、国内外の経済活動に大きな影響を及ぼしており、景気減速の傾向が強まりました。

このような状況のもと、当社グループは世界市場での顧客満足の実現に向けた拡販活動の推進や収益力の強化に取り組んでまいりましたが、その効果は限定的なものとなりました。

その結果、当連結会計年度の売上高は433億30百万円（前期比6.2%減）、営業利益は7億70百万円（同20.2%減）、経常利益は10億22百万円（同15.6%減）、親会社株主に帰属する当期純利益は2億78百万円（同45.9%減）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

機械装置

機械装置部門においては、2019KOIKEプライベートフェアを始めとした展示会の開催などにより拡販活動の強化に取り組みましたが、産業機械業界・造船業界などの主需要先の市況が低調に推移したことや価格競争の激化などにより、売上高は減少しました。

その結果、売上高は167億99百万円（前期比9.2%減）、セグメント利益は7億88百万円（同17.5%減）となりました。

高压ガス

高压ガス部門においては、医療分野では酸素濃縮器およびCPAPのレンタル契約件数が増加しましたが、ヘリウム需給逼迫による影響や産業ガスの市場動向が低調に推移したことなどにより、売上高は減少しました。

また、物流コストの増加による原価の上昇や安全対策として容器への継続投資により、利益は減少しました。

その結果、売上高は163億86百万円（前期比1.9%減）、セグメント利益は5億29百万円（同23.8%減）となりました。

溶接機材

溶接機材部門においては、アタック2020トライアスロンセールによる営業強化に努めましたが、消耗品・溶接材料の需要の鈍化や大型設備の受注の減少などにより売上高は低調に推移しました。

一方で、省力化および機械装置との一体販売による溶接プロセス改善提案の強化やLED天井灯・メタルスライダーなどの特徴ある新新材を市場投入し拡販に努め、利益は増加しました。

その結果、売上高は93億15百万円（前期比5.8%減）、セグメント利益は3億16百万円（同5.4%増）となりました。

その他

その他の部門においては、新たな市場へ新商品のヘリウム回収精製装置を販売することができたものの、中国市場において液晶関連企業の設備投資が鈍化したことにより、排ガス処理装置関連の売上高が大幅に減少しました。

その結果、売上高は8億27百万円（前期比25.4%減）、セグメント利益は66百万円（同59.5%減）となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

(資産)

当連結会計年度末における総資産は552億14百万円で、前連結会計年度末比59百万円の減少となりました。

流動資産合計は300億22百万円で、前連結会計年度末比18億56百万円の減少となりました。これは主に現金及び預金が10億4百万円増加の一方、受取手形及び売掛金が26億25百万円減少したことによるものです。

固定資産合計は251億91百万円で、前連結会計年度末比17億97百万円の増加となりました。これは主に建設仮勘定が12億69百万円増加したことによるものです。

(負債)

当連結会計年度末における負債合計は239億15百万円で、前連結会計年度末比13百万円の増加となりました。

流動負債合計は181億27百万円で、前連結会計年度末比5億63百万円の減少となりました。これは主に支払手形及び買掛金が9億84百万円減少したことによるものです。

固定負債合計は57億87百万円で、前連結会計年度末比5億76百万円の増加となりました。これは主に長期借入金が6億12百万円増加したことによるものです。

(純資産)

当連結会計年度末における純資産合計は312億99百万円で、前連結会計年度末比73百万円の減少となりました。これは主に非支配株主持分が1億20百万円増加の一方、為替換算調整勘定が1億10百万円減少、退職給付に係る調整額累計が54百万円減少したことによるものです。

この結果、自己資本比率は、52.5%となりました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物残高は、90億85百万円と前連結会計年度末比9億91百万円の増加となりました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりです。

営業活動によるキャッシュ・フローは36億87百万円の収入（前連結会計年度は10億16百万円の収入）となりました。これは主に減価償却費と売上債権の回収によるものであります。

投資活動によるキャッシュ・フローは22億75百万円の支出（前連結会計年度は6億65百万円の支出）となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出があったことによるものです。

財務活動によるキャッシュ・フローは3億79百万円の支出（前連結会計年度は7億26百万円の支出）となりました。これは主にファイナンス・リース債務の返済による支出と配当金の支払があったことによるものです。

(4) 今後の見通し

今後の当社グループを取り巻く経営環境は、新型コロナウイルスの感染拡大による世界経済への影響が懸念されており、先行きは予断を許さない状況となっております。

このような情勢のもと、当社グループは変化する世界市場に向けた新技術・新製品の開発およびグループ会社との連携と販売体制の強化に取り組んでまいります。

機械装置部門においては、働き方改革を背景とした省力化に対するニーズに応える新製品・新機能の開発を推進するとともに、ガス・溶接・切断の一体販売や新型ファイバーレーザー切断機のPRを中心とした拡販活動の強化に取り組んでまいります。また、海外拠点も含めた組織強化や人材育成を推進し、収益向上に向けた体制の強化に努めてまいります。

高圧ガス部門においては、ガス・溶接・切断の一体販売の推進や新たに開発した溶接用混合ガスの拡販活動などにより、新規顧客の獲得に努めてまいります。また、物流体制の合理化や老朽化したガス充填工場の再構築を推進し、原価低減や安全の確保を徹底してまいります。

医療分野においては、新型コロナウイルス感染症対策として手指消毒剤、パルスオキシメーター、酸素流量計、ディスポーザブル吸引器の拡販活動の強化や消耗品の原価低減に取り組むとともに、中国やインドネシアなどアジアを中心とした海外市場の開拓に努めてまいります。

溶接機材部門においては、「アタック2020トライアスロンセール」による拡販や安全講習会の推進を継続するとともに、各種新商材の投入と効率化に繋がる提案やガス・溶接機器の一体販売強化により新規顧客の獲得および新市場の開拓に努めてまいります。

その他の部門においては、排ガス処理装置やヘリウム関連機器について新製品開発を推進し、拡販活動に取り組んでまいります。

なお、2021年3月期の連結業績予想につきましては、新型コロナウイルスによる影響を現時点において合理的に算出することが困難であることから未定としております。

今後、業績予想の開示が可能となった時点で速やかに開示いたします。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性および企業間の比較可能性を考慮し、当面は、日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。

なお、国際会計基準の適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当連結会計年度 (2020年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,571	9,576
受取手形及び売掛金	14,991	12,366
有価証券	330	349
商品及び製品	4,514	4,080
仕掛品	1,270	1,563
原材料及び貯蔵品	1,563	1,547
その他	879	826
貸倒引当金	△242	△287
流動資産合計	31,879	30,022
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	4,149	3,968
機械装置及び運搬具(純額)	1,226	1,171
工具、器具及び備品(純額)	373	542
土地	9,430	9,536
リース資産(純額)	1,276	1,375
建設仮勘定	56	1,326
有形固定資産合計	16,512	17,920
無形固定資産		
のれん	20	16
リース資産	14	8
その他	236	221
無形固定資産合計	272	246
投資その他の資産		
投資有価証券	4,424	4,413
繰延税金資産	77	55
退職給付に係る資産	414	390
その他	1,739	2,225
貸倒引当金	△46	△60
投資その他の資産合計	6,610	7,024
固定資産合計	23,394	25,191
資産合計	55,274	55,214

(単位: 百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当連結会計年度 (2020年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,715	6,730
電子記録債務	3,452	3,194
短期借入金	4,078	4,119
1年内返済予定の長期借入金	172	210
リース債務	596	683
未払法人税等	188	264
賞与引当金	419	477
役員賞与引当金	71	69
受注損失引当金	10	32
製品保証引当金	173	103
建物解体費用引当金	43	11
資産除去債務	—	8
その他	1,770	2,221
流動負債合計	18,691	18,127
固定負債		
長期借入金	634	1,246
リース債務	795	818
繰延税金負債	2,267	2,229
再評価に係る繰延税金負債	824	824
役員退職慰労引当金	227	232
退職給付に係る負債	181	191
資産除去債務	23	15
その他	256	229
固定負債合計	5,210	5,787
負債合計	23,901	23,915
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,028	4,028
資本剰余金	2,354	2,351
利益剰余金	20,535	20,483
自己株式	△921	△901
株主資本合計	25,996	25,961
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,642	1,647
繰延ヘッジ損益	△1	—
土地再評価差額金	868	868
為替換算調整勘定	454	343
退職給付に係る調整累計額	223	168
その他の包括利益累計額合計	3,187	3,028
非支配株主持分	2,188	2,308
純資産合計	31,372	31,299
負債純資産合計	55,274	55,214

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
売上高	46,217	43,330
売上原価	33,895	31,421
売上総利益	12,321	11,908
販売費及び一般管理費		
運賃	1,123	1,179
給料	4,182	4,160
支払手数料	680	625
減価償却費	395	438
貸倒引当金繰入額	—	69
賞与引当金繰入額	202	260
役員賞与引当金繰入額	71	69
退職給付費用	133	122
役員退職慰労引当金繰入額	27	26
その他	4,538	4,186
販売費及び一般管理費合計	11,356	11,138
営業利益	965	770
営業外収益		
受取利息	23	33
受取配当金	101	106
受取賃貸料	190	190
持分法による投資利益	61	44
物品売却益	42	37
貸倒引当金戻入額	14	—
その他	75	112
営業外収益合計	509	526
営業外費用		
支払利息	70	77
賃貸費用	48	50
為替差損	124	103
その他	18	42
営業外費用合計	262	273
経常利益	1,212	1,022
特別利益		
固定資産売却益	30	0
投資有価証券売却益	0	—
関係会社清算益	4	—
その他	0	1
特別利益合計	35	2
特別損失		
固定資産除売却損	63	9
減損損失	54	0
投資有価証券評価損	41	112
関係会社株式評価損	16	—
関係会社出資金評価損	13	—
建物解体費用引当金繰入額	43	—
たな卸資産除売却損	—	21
和解金	19	—
その他	4	19
特別損失合計	257	164
税金等調整前当期純利益	990	860
法人税、住民税及び事業税	399	473
法人税等調整額	△17	△9
法人税等合計	381	463
当期純利益	609	396
非支配株主に帰属する当期純利益	94	118
親会社株主に帰属する当期純利益	514	278

(連結包括利益計算書)

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
当期純利益	609	396
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△213	41
繰延ヘッジ損益	△1	1
為替換算調整勘定	△156	△126
退職給付に係る調整額	△82	△54
その他の包括利益合計	△453	△138
包括利益	155	258
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	82	119
非支配株主に係る包括利益	73	138

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	4,028	2,354	20,310	△920	25,772
当期変動額					
剰余金の配当			△289		△289
親会社株主に帰属する当期純利益			514		514
自己株式の取得				△0	△0
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	225	△0	224
当期末残高	4,028	2,354	20,535	△921	25,996

	その他の包括利益累計額						非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益	土地再評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	1,851	—	868	592	307	3,619	2,135	31,528
当期変動額								
剰余金の配当								△289
親会社株主に帰属する当期純利益								514
自己株式の取得								△0
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△209	△1	—	△138	△83	△432	52	△379
当期変動額合計	△209	△1	—	△138	△83	△432	52	△155
当期末残高	1,642	△1	868	454	223	3,187	2,188	31,372

当連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	4,028	2,354	20,535	△921	25,996
当期変動額					
剰余金の配当			△331		△331
親会社株主に帰属する当期純利益			278		278
自己株式の取得				△0	△0
自己株式の処分		△0		20	19
非支配株主との取引に係る親会社の持分変動		△1			△1
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	－	△2	△52	19	△35
当期末残高	4,028	2,351	20,483	△901	25,961

	その他の包括利益累計額						非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益	土地再評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	1,642	△1	868	454	223	3,187	2,188	31,372
当期変動額								
剰余金の配当								△331
親会社株主に帰属する当期純利益								278
自己株式の取得								△0
自己株式の処分								19
非支配株主との取引に係る親会社の持分変動								△1
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	5	1	－	△110	△54	△159	120	△38
当期変動額合計	5	1	－	△110	△54	△159	120	△73
当期末残高	1,647	－	868	343	168	3,028	2,308	31,299

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位: 百万円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	990	860
減価償却費	1,496	1,563
株式報酬費用	—	14
減損損失	54	0
のれん償却額	16	11
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△41	61
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△87	58
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△8	△1
受注損失引当金の増減額 (△は減少)	△23	23
製品保証引当金の増減額 (△は減少)	110	△68
建物解体費用引当金の増減額 (△は減少)	43	△31
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	25	5
退職給付に係る資産の増減額 (△は増加)	93	24
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△67	△44
受取利息及び受取配当金	△124	△140
支払利息	70	77
持分法による投資損益 (△は益)	△61	△44
固定資産除売却損益 (△は益)	33	9
有価証券及び投資有価証券売却損益 (△は益)	△0	—
関係会社清算損益 (△は益)	△4	—
投資有価証券評価損益 (△は益)	41	112
関係会社株式評価損	16	—
関係会社出資金評価損	13	—
和解金	19	—
売上債権の増減額 (△は増加)	△43	2,768
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△669	△114
仕入債務の増減額 (△は減少)	△117	△1,138
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△110	50
その他	△123	△111
小計	1,543	3,946
利息及び配当金の受取額	135	216
利息の支払額	△71	△78
法人税等の支払額	△590	△397
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,016	3,687

(単位: 百万円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△886	△678
定期預金の払戻による収入	972	665
有形固定資産の取得による支出	△742	△1,804
有形固定資産の売却による収入	47	12
無形固定資産の取得による支出	△110	△65
投資有価証券の取得による支出	△47	△398
投資有価証券の売却による収入	0	—
関係会社の清算による収入	45	35
貸付けによる支出	△3	△48
貸付金の回収による収入	51	0
その他	7	9
投資活動によるキャッシュ・フロー	△665	△2,275
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	52	62
長期借入れによる収入	600	880
長期借入金の返済による支出	△417	△229
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△649	△738
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△289	△331
非支配株主への配当金の支払額	△22	△22
財務活動によるキャッシュ・フロー	△726	△379
現金及び現金同等物に係る換算差額	12	△41
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△363	991
現金及び現金同等物の期首残高	8,457	8,094
現金及び現金同等物の期末残高	8,094	9,085

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

当社グループは、中大型切断機・ガス自動切断機・ガス溶断器具・溶接機械等の製造・販売を行う機械装置部門と、各種工業用・医療用ガスの製造・仕入・販売を行う高圧ガス部門、溶接棒・電気溶接機・安全器具等の仕入・販売を行う溶接機材部門の3部門に事業を区分し、事業計画を立案し、業績評価や投資意思決定を行っております。

また、上記3部門ごとに営業本部を置き、各営業本部は取り扱う製商品について国内及び海外の包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

したがって、当社グループは、営業本部を基礎とした製品・サービス別のセグメントから構成されており、「機械装置」、「高圧ガス」及び「溶接機材」の3つを報告セグメントとしております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と概ね同一であります。

報告セグメントの利益は、連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	連結財務諸表 計上額 (注) 3
	機械装置	高圧ガス	溶接機材	計				
売上高								
外部顧客への 売上高	18,505	16,710	9,890	45,107	1,109	46,217	—	46,217
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	18,505	16,710	9,890	45,107	1,109	46,217	—	46,217
セグメント利益	955	695	300	1,950	163	2,114	△1,149	965
セグメント資産	20,082	12,675	6,899	39,657	816	40,474	14,800	55,274
その他の項目								
減価償却費	512	909	50	1,472	12	1,484	12	1,496
のれんの償却額	—	16	—	16	—	16	—	16
持分法適用会社へ の投資額	537	—	—	537	—	537	—	537
有形固定資産及び 無形固定資産の増 加額	379	1,104	50	1,535	3	1,538	122	1,661

当連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	連結財務諸表 計上額 (注) 3
	機械装置	高圧ガス	溶接機材	計				
売上高								
外部顧客への 売上高	16,799	16,386	9,315	42,502	827	43,330	—	43,330
セグメント間の 内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	16,799	16,386	9,315	42,502	827	43,330	—	43,330
セグメント利益	788	529	316	1,634	66	1,701	△930	770
セグメント資産	19,146	13,143	5,499	37,789	428	38,217	16,996	55,214
その他の項目								
減価償却費	430	996	48	1,476	13	1,489	73	1,563
のれんの償却額	—	11	—	11	—	11	—	11
持分法適用会社への 投資額	551	—	—	551	—	551	—	551
有形固定資産及び 無形固定資産の増 加額	358	1,639	178	2,176	—	2,176	648	2,825

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、燃焼式排ガス処理装置、ヘリウム液化機の製造・仕入・販売が含まれております。

2. 調整額の内容は以下のとおりであります。

セグメント利益

(単位:百万円)

	前連結会計年度	当連結会計年度
セグメント間取引消去	125	98
全社費用※	△1,374	△1,243
棚卸資産の調整額	41	83
その他の調整額	58	130
合計	△1,149	△930

※全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

セグメント資産

前連結会計年度におけるセグメント資産の調整額14,800百万円は、全社資産の金額14,800百万円であり、その主なものは、当社での余資運用資金(現金及び預金)、長期投資資金(投資有価証券等)及び管理部門に係る資産等であります。当連結会計年度におけるセグメント資産の調整額16,996百万円は、全社資産の金額16,996百万円であり、その主なものは、当社での余資運用資金(現金及び預金)、長期投資資金(投資有価証券等)及び管理部門に係る資産等であります。

3. セグメント利益は、連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
1株当たり純資産額	7,052.76円	6,991.98円
1株当たり当期純利益	124.40円	67.23円

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
親会社株主に帰属する当期純利益 (百万円)	514	278
普通株主に帰属しない金額 (百万円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純 利益 (百万円)	514	278
普通株式の期中平均株式数 (千株)	4,138	4,143

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

4. 個別財務諸表及び主な注記

(1) 貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (2019年3月31日)	当事業年度 (2020年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,566	6,307
受取手形	6,154	4,671
売掛金	5,984	4,987
商品及び製品	2,781	2,450
仕掛品	402	709
原材料及び貯蔵品	10	11
前払費用	61	59
短期貸付金	406	397
その他	389	515
貸倒引当金	△279	△460
流動資産合計	21,478	19,649
固定資産		
有形固定資産		
建物	2,850	2,737
構築物	122	119
機械及び装置	164	211
ガス供給装置	515	472
車両運搬具	3	2
工具、器具及び備品	76	245
土地	8,429	8,429
リース資産	26	25
建設仮勘定	44	1,316
有形固定資産合計	12,232	13,559
無形固定資産		
ソフトウェア	106	111
リース資産	11	6
その他	35	25
無形固定資産合計	153	144
投資その他の資産		
投資有価証券	3,595	3,435
関係会社株式	2,395	2,502
関係会社出資金	898	877
前払年金費用	90	144
その他	153	170
貸倒引当金	△41	△54
投資その他の資産合計	7,091	7,075
固定資産合計	19,477	20,779
資産合計	40,955	40,428

(単位: 百万円)

	前事業年度 (2019年3月31日)	当事業年度 (2020年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形	59	23
電子記録債務	3,746	3,422
買掛金	5,171	4,412
短期借入金	3,336	3,446
1年内返済予定の長期借入金	47	120
リース債務	11	11
未払金	329	318
未払費用	278	299
未払法人税等	100	149
前受金	63	93
預り金	16	17
賞与引当金	256	250
役員賞与引当金	50	50
受注損失引当金	—	20
製品保証引当金	68	87
建物解体費用引当金	43	11
資産除去債務	—	8
その他	83	341
流動負債合計	13,662	13,084
固定負債		
長期借入金	600	1,109
リース債務	29	24
繰延税金負債	2,058	1,996
再評価に係る繰延税金負債	824	824
資産除去債務	18	10
その他	208	196
固定負債合計	3,739	4,161
負債合計	17,402	17,246
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,028	4,028
資本剰余金		
資本準備金	2,366	2,366
その他資本剰余金	23	18
資本剰余金合計	2,389	2,385
利益剰余金		
利益準備金	590	590
その他利益剰余金		
固定資産圧縮積立金	6,562	6,474
別途積立金	300	300
繰越利益剰余金	8,337	8,095
利益剰余金合計	15,790	15,460
自己株式	△1,089	△1,066
株主資本合計	21,119	20,808
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	1,566	1,505
繰延ヘッジ損益	△1	—
土地再評価差額金	868	868
評価・換算差額等合計	2,434	2,374
純資産合計	23,553	23,182
負債純資産合計	40,955	40,428

(2) 損益計算書

(単位：百万円)

	前事業年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当事業年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
売上高	28,229	25,252
売上原価	22,406	19,945
売上総利益	5,822	5,307
販売費及び一般管理費	5,324	5,290
営業利益	498	16
営業外収益		
受取利息及び受取配当金	143	194
受取賃貸料	332	330
その他	54	73
営業外収益合計	530	598
営業外費用		
支払利息	26	29
売上割引	11	11
賃貸費用	87	82
為替差損	19	41
その他	3	23
営業外費用合計	148	187
経常利益	879	427
特別利益		
固定資産売却益	3	—
その他	0	0
特別利益合計	3	0
特別損失		
固定資産除売却損	62	7
減損損失	53	0
投資有価証券評価損	41	112
関係会社株式評価損	15	—
関係会社出資金評価損	136	81
建物解体費用引当金繰入額	43	—
その他	3	3
特別損失合計	357	206
税引前当期純利益	525	221
法人税、住民税及び事業税	266	256
法人税等調整額	△27	△35
法人税等合計	238	220
当期純利益	286	0

(3) 株主資本等変動計算書

前事業年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

(単位: 百万円)

	株主資本								
	資本金	資本剰余金			利益準備金	利益剰余金			利益剰余金合計
		資本準備金	その他資本剰余金	資本剰余金合計		その他利益剰余金			
					固定資産圧縮積立金	別途積立金	繰越利益剰余金		
当期首残高	4,028	2,366	23	2,389	590	6,656	300	8,246	15,793
当期変動額									
剰余金の配当								△289	△289
固定資産圧縮積立金の取崩						△93		93	—
当期純利益								286	286
自己株式の取得									
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)									
当期変動額合計	—	—	—	—	—	△93	—	90	△3
当期末残高	4,028	2,366	23	2,389	590	6,562	300	8,337	15,790

	株主資本		評価・換算差額等				純資産合計
	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益	土地再評価差額金	評価・換算差額等合計	
当期首残高	△1,088	21,123	1,775	—	868	2,643	23,767
当期変動額							
剰余金の配当		△289					△289
固定資産圧縮積立金の取崩		—					—
当期純利益		286					286
自己株式の取得	△0	△0					△0
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)			△208	△1	—	△209	△209
当期変動額合計	△0	△4	△208	△1	—	△209	△213
当期末残高	△1,089	21,119	1,566	△1	868	2,434	23,553

当事業年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位: 百万円)

	株主資本								
	資本金	資本剰余金			利益準備金	利益剰余金			利益剰余金合計
		資本準備金	その他資本剰余金	資本剰余金合計		その他利益剰余金			
					固定資産圧縮積立金	別途積立金	繰越利益剰余金		
当期首残高	4,028	2,366	23	2,389	590	6,562	300	8,337	15,790
当期変動額									
剰余金の配当								△331	△331
固定資産圧縮積立金の取崩						△88		88	—
当期純利益								0	0
自己株式の取得									
自己株式の処分			△4	△4					
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)									
当期変動額合計	—	—	△4	△4	—	△88	—	△242	△330
当期末残高	4,028	2,366	18	2,385	590	6,474	300	8,095	15,460

	株主資本		評価・換算差額等				純資産合計
	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益	土地再評価差額金	評価・換算差額等合計	
当期首残高	△1,089	21,119	1,566	△1	868	2,434	23,553
当期変動額							
剰余金の配当		△331					△331
固定資産圧縮積立金の取崩		—					—
当期純利益		0					0
自己株式の取得	△0	△0					△0
自己株式の処分	24	19					19
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)			△61	1	—	△60	△60
当期変動額合計	23	△311	△61	1	—	△60	△371
当期末残高	△1,066	20,808	1,505	—	868	2,374	23,182

(4) 個別財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

5. その他

(1) 生産、受注及び販売の実績

①生産実績

当連結会計年度の生産実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	前年同期比 (%)
機械装置 (百万円)	13,494	88.5
高压ガス (百万円)	251	92.0
報告セグメント計 (百万円)	13,745	88.6
その他 (百万円)	—	—
合計 (百万円)	13,745	88.6

(注) 1. 金額は販売価格によっております。

2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

②受注実績

当連結会計年度における受注実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	受注高 (百万円)	前年同期比 (%)	受注残高 (百万円)	前年同期比 (%)
機械装置	11,014	93.3	3,514	141.2

(注) 1. 金額は販売価格によっております。

2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

3. 受注高及び受注残高につきましては、標準機・部品等の金額を含めておりません。

③販売実績

当連結会計年度の販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	前年同期比 (%)
機械装置 (百万円)	16,799	90.8
高压ガス (百万円)	16,386	98.1
溶接機材 (百万円)	9,315	94.2
報告セグメント計 (百万円)	42,502	94.2
その他 (百万円)	827	74.6
合計 (百万円)	43,330	93.8

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(2) 役員の変動 (2020年6月25日付予定)

本日公表いたしました「役員人事のお知らせ」をご参照ください。